

令和元年度 長野県優良技術者表彰 受賞者取組概要【若手部門】

委託業務

優良技術者
氏名

小林 真幸



当該業務における役割		管理技術者
所属 企業	商号又は名称	株式会社 K R C
	住所	長野市稲里町中央三丁目33番23号

【対象となった委託業務】

業務名	平成28年度 県単 長野県都市計画ビジョン策定業務		発注 機関	長野県建設部 都市・まちづくり課
業務箇所	県内一円			
最終契約額	1,139万4千円	業務 概要	『長野県都市計画ビジョン』の改定 ○検討に必要な情報収集・資料データの整理・分析 ○都市づくりの課題・目標・方針等の検討 ○有識者による検討委員会等の会議運営支援 ○改定ビジョンの本編、資料編、概要版の作成	
契約期間	自 平成28年9月15日 至 平成31年1月31日			
主な取組	GISデータを効果的に活用して人口や土地利用等の動向を詳細に分析し、都市づくりの課題整理や現行制度の評価等を行った。それらを踏まえ上位計画の目標や有識者意見の反映を図りながら「改定の視点」を見出し、「グリーンインフラ」など新たな概念を独自の解釈で位置付けるなど「信州らしさ」も重視して、県土の将来を見据えた目標・方針・方策等を改定ビジョンにまとめた。			

GISによる人口・土地利用の動向分析

「信州らしさ」を引き出す目標・方針等の設

上位目標や課題から見出した改定視点

目指すべき社会の方向性
グローバルな目標
平成27年に国連サミットで採択された持続可能な開発目標(SDGs)との整合

国全体で目指している社会の姿(平成19年に閣議決定された「21世紀環境立国戦略」に示された3つの社会づくり)との整合
低炭素型社会 自然共生社会 循環型社会

都市づくりに関する変化と動向

〈自然環境〉 自然災害に対する意識の高まり	〈人口動態〉 急激な人口減少と高齢化の進行	〈土地利用〉 空き家や耕作放棄地など 低・未利用地の増加	〈都市施設〉 都市インフラの老朽化
〈交通体系〉 国土レベルでの 高速交通網整備の進展	〈観光動向〉 インバウンドの大幅な増加	〈技術革新〉 ICT技術・サービスの急速な進化 (IoT、AI、ドローン、AR/VRなど)	〈制度活用〉 市町村主体の都市づくり 関連制度の取り組みの進展

社会の方向性や都市づくり関連の変化と動向を踏まえて見出した県ビジョン改定の視点

【改定の視点1】
広域連携の深化と
地域価値の共有・醸成

【改定の視点2】
生活環境の質的向上と
関係人口の拡大

【改定の視点3】
いまある資源の活用と
自然環境との共生

《都市づくりの目標》
3つのゾーンの目標と相互関係

《都市づくりの方針》
ゾーンに関する3つの方針

《都市づくりの推進方策の展開》
「継続性」を指向した都市計画から
「不確実性」を受容する都市計画へ
人口減少、大規模災害の発生、空き家や空き地の増加
(都市のマネジメント、都市インフラの老朽化 等)

《信州の多彩な魅力を育む都市構造の基本理念》

信州版コンパクト・プラス・ネットワーク
それぞれに魅力ある「まち」、「里」、「山」、
多彩で個性豊かな地域と地域がつながる連携・共生型の都市構造
※1「基本理念」は、県土全体、生活圏、市町村など様々なスケールで、都市づくりの長期的な
ビジョンや将来像を描く際、まちのかたちの骨格形成の基本に据えておくべき考えです。

信州らしい都市づくりを推進する施策概念

信州版グリーンインフラストラクチャー
「山」から「まち」まで、自然環境の機能を最大限に活用した
土地利用、都市施設整備、人間活動の展開
※2「施策概念」は、都市づくりの長期的なビジョンや将来像を具体化するための施策展開にあ
たり、その施策の妥当性を検証する際に基本的に配慮すべき考えです。